

笑顔 幸せ

みんなでつくる

あったかす

たかす議会だより

子、雀、草

(町花「マリーゴールド」の和名)
題字 松平さくら

2024年2月5日 発行

No. **193**

令和5年12月定例会号

鷹栖町はたちのつどい



〈もくじ〉

- 4 公共施設使用料改正
令和5年第4回定例会
- 6 選挙管理委員・補充員選挙
- 7 6名が一般質問
林川・桑原・青野
片山・佐竹・川原
- 14 追跡レポート・臨時会
- 15 議会のうごき
一般質問勉強会 / タブレット研修
議長研修会レポート
- 16 委員会活動報告
- 18 マニフェスト大賞
優秀議会改革賞受賞
- 19 VOICE ほか



過去の議会報「孔雀草」
で関連のある記事を表し
ています。

くじやくそろ クイズ

商品券1000円分が
抽選で3名に当たる

○に当てはまる言葉を入れてください。
答えはこの議会報「孔雀草」の中にあ
ります！

問1 鷹栖町の公共施設12カ所につい
て○○○の見直しが決定しました。

問2 ○○○○○○大賞で鷹栖町議会
が優秀議会改革賞を受賞しました。

問3 小中学校のエアコン整備、工事は
○○○○年夏の完了を目指しています。

応募方法などは19ページ
に記載しています

ウェブでも回答できます ▶



過去最高

42名傍聴

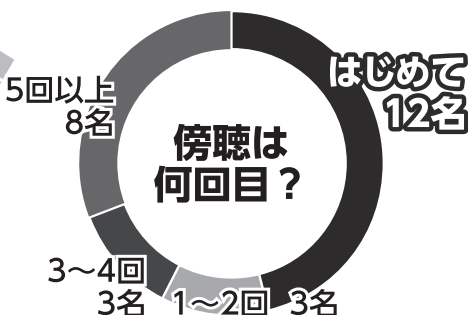
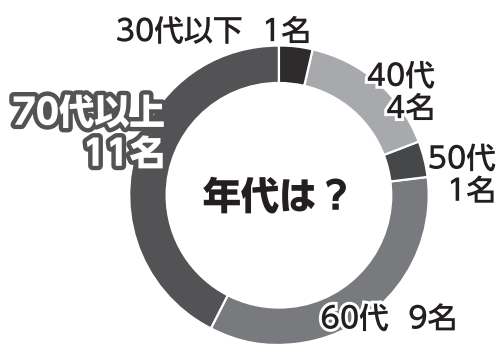
土曜議会 傍聴のきっかけに

鷹栖町議会では、平日に傍聴に来ることができない方に議場に足を運んでもらうため、2016年から年1回、休日議会を開催しています。

今回は12月定例会の一般質問を土曜議会として開催しました。

新型コロナウイルスの影響で傍聴者数は22名（R3年12月、2年ぶりの開催）、29名（R5年3月）と低迷していましたが、今回は過去最高の傍聴者数となりました。アンケートによると、はじめての傍聴という方も多

く、傍聴のきっかけになっ
たと考えています。
継続して議会に対し興味
を持ってもらえるよう、今
後も邁進していきます。



公共施設使用料見直し

条例 2024年春から改定 住民センターなど12カ所

これまで使用料は近隣自治体との均衡を考慮して設定していました。

近年の物価高騰に伴う維持管理費の増加に対して持続的な行政サービスを提供するため、公平性の観点から町と受益者の負担割合や料金について「あるべき使用料が定められています。

今回は、これを基本としていますが、町民の負担が著しく大きくなるということにも配慮されています。

～経緯～

公共施設使用料の見直しは行財政改革の一環として令和3年度にも行政からの提案がありましたが、議会はコロナ禍において町民負担よりも事業費の削減を優先すべきという意見を伝えていました。

可決 反対1名

林川

林川議員 町内者と町外者の差を設ける根拠は。

総務課長 維持管理費に

は町の一般財源も投入しています。町外の方にも相応分の負担をしていただく考えです。

青野議員 行財政改革は道半ばです。今、提案する考えを伺います。

副町長 行財政改革について、事業の見直しを進めています。目標の事業費1億円削減には届いていません。事業費削減と使用料改定は同時にさせていただき、行財政改革の進捗状況を住民や議会に丁寧に説明します。

定例会のあらまし

令和5年第4回定例会を12月9日(土)～11日(月)に開催しました。10日(日)は休会。

9日は6名の議員が一般質問を行いました。

11日は議案審議16件、議員発議1件を原案のとおり可決し、選挙管理委員会委員および補充員の選挙を行い、8名を選任しました。



議案一覧はこちら

反対



林川 伸二

行財政改革の成果が不十分です

前期議員が行財政改革は不十分と進言した成果が見えません。議会に言われる前にもっと努力して事業費を削減するべきです。

町内利用者に影響がない改正なら1、2年遅れても歳入には大きな影響はありません。料金改定は行財政改革の成果が分かる令和6年度以降又は民間の賃金アップ後で良いと考えます。

賛成



舟根 輝好

使用料見直しと事業費削減は共に進める

コロナ禍で見送っていた経緯もありましたが、行動制限もなくなりまして、物価高騰により経費、人件費、光熱費など維持費も増加しています。

受益者負担の原則や行財政改革において公共施設の使用料の見直しと事業費の削減は同時に進めたいという行政の考えも理解し、妥当性を認め賛成します。

補正

住民税非課税世帯に追加給付 1世帯に7万円

令和5年度一般会計補正予算(第7号) 国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

各補正予算を審議し、全会一致で可決しました。

住民税非課税世帯・家計急変世帯に給付金7万円の支給を決定しました(国の事業)。

各施設、車輛などの燃料費・電気料は単価上昇の影響などで1400万円増額されています。

家計急変世帯は申請が必須です。健康福祉課地域福祉係が窓口です。

スマート農業 推進

農地の大規模整備による作業効率化を推進するため国の補助事業を活用し、自動操舵システムを導入。今回は新規4機分で、計15機が設置となります。

農林費 440万円

青野議員 今後の計画と

農業者からの要望把握は。

産業振興課長 面積で導入枠が定められ35機が認められています。42件の要望があります。財源の確保に向け努力します。

(万円未満四捨五入)

一般会計	補正額	補正前の額	補正後の額
	2億3853万円	61億3043万円	63億6896万円
総務費	7912万円	住民税非課税世帯等給付金給付事業費の追加ほか	
民生費	6235万円	障がい福祉サービス給付事業費の追加ほか	
衛生費	401万円	带状疱疹ワクチン接種助成金の追加ほか	
農林費	1404万円	産業用無人ヘリ共同利用機械導入事業交付金の追加ほか	
商工費	4818万円	企業立地推進事業補助金の追加ほか	
土木費	1965万円	公営住宅改修工事費の追加ほか	
消防費	6万円	燃料費の追加	
教育費	1112万円	学校給食管理運営事業費の追加ほか	
国民健康保険	1629万円	7億9505万円	8億1134万円

詳細は町HPをご確認ください
申請期限は2月29日(木)まで



作業経路情報をもとにトラクターが自動で作業します



旭川市に隣接する場所にある鷹栖工業団地

企業立地 新規2社

鷹栖町内の企業立地を推進するため、町内に事業所を設立する方に対し助成を行ってまいります。鷹栖工業団地と北野地区に2社の立地が決まりました。

商工費 4799万円

原料トマト生産

令和6年度の支援を約束



トマトジュース「オオカミの桃」原料トマトの生産意欲向上を図るため債務負担行為を決定しました。

秀品奨励金を継続

令和5年度に続き、秀品出荷実績に対して1キログラムあたり20円の奨励金を継続します。

農林費 600万円

苗の購入を補助

病害に強い接ぎ木苗の購入に対して、例年のとおり補助を行います。

農林費 400万円

債務負担行為とは、あらかじめ後の年度の債務を約束することを予算で決めておく行為です。

秀品奨励金が債務負担行為になるのは初めて。原料トマト生産への行政の意気込みを感じます。(阿戸)

選挙

選挙管理委員および補充員

指名推選により決定

新しい委員および補充員の方は次の通りです。
任期は令和9年12月19日までです。

選挙管理委員

補充員

指名推選とは、議員全員に異議がない場合、議長や特定の議員が推薦した候補者を、投票によらずに当選人として承認することです。



木下 忠行さん
(北斗地区)

選挙はまちづくりに重要です。
選挙が適正に執行されるよう、身近に感じられるような情報発信、投票しやすい環境の整備に努めてまいります。



南 亜太良さん
(中央地区)

議員だけでなく選挙という人材も30代は全国的に少ないそうです。
次の世代に繋がるような視点で選挙管理に向き合ってみたいと思います。



山下 寿明さん
(北野地区)

投票率を向上させるため、選挙に対する関心を高めることはもちろん、投票に行けない方への対応も考えながら活動していきたいと考えています。



三上 正幸さん
(鷹栖地区)

若い方にも、選挙に対する関心をより深め、身近なものとして感じていただけるよう、選挙管理委員としての今までの経験を活かしながら努めていきます。



秋山 英士さん
(北成地区)



築取 暢子さん
(中央地区)



青木 陽子さん
(北野地区)



小林 義雄さん
(鷹栖地区)

有権者数 5566人 → 投票者数 3526人
(男性2584人 女性2982人) (男性1645人 女性1881人)

投票結果集計

	有権者数	投票者数	投票率
2007年(前回)	6131人	5082人	82.89%
2023年(今回)	5566人	3526人	63.35%
比較	△565人	△1566人	△19.54ポイント

期日前投票結果集計

	有権者数	投票者数	投票率
2007年(前回)	6131人	548人	8.94%
2023年(今回)	5566人	981人	17.62%
比較	△565人	433人	8.69ポイント

選挙後、投票しやすい工夫について斉藤議員が質問しました。

191号
8頁

2023年4月に行われた統一地方選挙では16年ぶりの投票による選挙となり、3期連続で続いていた無投票の解消となりました。
期日前投票は若干増えているものの、全体では投票率が低下しており、今後の課題と考えています。

2023年の統一地方選挙では上川管内14町村中8町村が無投票でしたが、投票率は上川管内で64.01%、道内で66.35%で鷹栖町より高い結果です。

無投票回避も投票率の低下が課題
町議選に見る鷹栖町の選挙の実態

一
般
質
問

6名の議員が町政を問う！

一般質問は、各議員が行財政全般にわたり町当局の考え方や疑問を質すことで、現行の政策を見直し、新規政策につなげる重要な活動です。



土曜議会に手ごたえ
議員による『わがまちの課題』という争点の提起

質問議員	質問内容	頁
林川 伸二	教育 まちづくり インクルーシブ教育で共生社会を 今が公共施設使用料改正のタイミングか	8
桑原 芳文	教育 学力向上の取り組みはどのように	9
青野 敏	保育 鷹栖保育園に統合する目的は	10
片山 兵衛	防災 地区をまたいだ防災訓練を	11
佐竹 晃	農業 農地の大規模基盤整備事業の考えは	12
川原 允	教育 不登校児童生徒へ公的な支援は	13



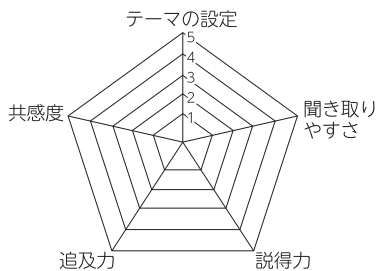
こちらから質問
内容を紹介した
動画をご覧い
ただけます

土曜日の町議会という事もあり、42人の傍聴者に活気を感じました。議会チラシの影響もあったのかな？傍聴者が多いと議員の皆さんもやりがいがありますよね～次回も楽しみにしています。

根本美由紀さん（北野地区）



聞いてみました！



一般質問の通信簿の結果は平均点をレーダーチャートで掲載しています



インクルーシブ教育で共生社会を

教育長

可能な限り、共に学ぶ場を大切に



特別支援学級は子供が一人ひとりに応じた教育を受けることができるよう小・中学校に設置された少人数のクラスです (写真右：北野小学校1年生特別支援学級)

■インクルーシブ教育とは
障がいのある子供とない子供を分離する教育をやめ、全ての子供が共に学ぶ教育

日 本は国連が採択した「障害者の権利に関する条約」を批准しましたが、「分離教育は分離した社会を生み出す。インクルーシブ教育とともに生きる社会をつくる基礎である。」と改善勧告がなされました。

どう考え、どのようにしているのか。教育長 子供たちの学びの充実に向け、障がいの無いの隔てなく、子供たちが可能な限りともに教育を受けられる条件整備に努めています。

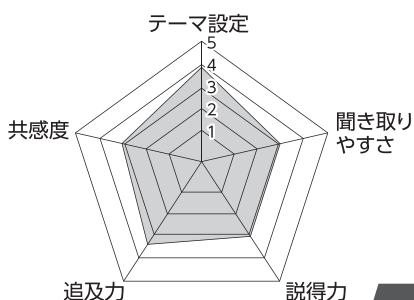
最も大切なことは、児童生徒が授業内容を理解し、主体的に学習活動に参加することにより、これからの社会を生きていく力を身につけて行くことだと考えます。そのためにも共に学ぶ場を大切にし、児童生徒一人ひとりのニーズに応じた多様な学びの場の確保に努めます。

質問 なぜインクルーシブ教育が大切なのかを地域住民にも説明する考えは。教育長 地域共生社会の形成は重要です。地域の理解も必要ですので、住民への説明については町部局と打ち合わせます。

質問 使用料の設定については受益者負担の原則、算定方法の明確化、施設の安定的な運営を基本とすることでも賛成です。町長 現在の使用料は条例で設定されており、多くは近隣市町村の類似施設を参考に設定され長年見直していない状況です。



はやしかわ しんじ 林川 伸二 議員



質問 使用料の設定については受益者負担の原則、算定方法の明確化、施設の安定的な運営を基本とすることでも賛成です。町長 今回の見直し案は、利用

今回の見直し案は、利用... 町長 公表できると考えています。

「個人の感情が入りすぎと思いました。」
「町長の回答が長く、質問の時間が短かった。」

学力向上の取り組みはどのように

教育長 「読む」「書く」を意識し、取り組んでいく



中学3年生では宿題をしている割合、数学の解き方や考え方がわかるようにノートに書いている割合が全国および全道を上回っています

令 和5年度全国学力・学習状況調査（以下学力テスト）では、本町の小学6年生は全国全道を上回り、中学3年生も全国平均とほぼ同様で前年度を上回りました。

今後の学力向上の具体的な取り組みは。

教育長 習熟度別指導の充実やICTの効果的な活用をはじめ、ここ数年の課題である「読む」「書く」を意識し、学力向上に取り組んでいきます。

質問 一人一台端末機の導入から数年が経ちます。小中学校別の活用状況は。

教育長 小学校の3年生以上は授業で毎日活用し、自宅でも自主的に取り組めるよう配慮しています。中学校は全学年で毎日活用しています。持ち帰りは生徒の判断ですが、長期休業の際は端末の活用が必要な課題を出しています。

質問 デジタル教科書は双方向型の機能や、軽量で複数の教科書が収納できるなどメリットがあります。現状と今後の取り組みは。

教育長 令和3年度から国の実証事業として一部の教科で導入しています。文部科学省の方針では令和6年度より小5〜中3の英語で先行導入し、他の教科でも段階的な導入をすることが示されています。当面は、紙とデジタルを併用していく予定です。

質問 メクビット（文科省のオンライン教育システム）の活用は。

教育長 令和5年度の学力テストで一部使用を開始しました。

令和6年度は学力テストや全国体力・運動能力・運動習慣調査の一部で、オンライン方式による実施が予定されています。

質問 教職員の働き方改革と業務効率化に向けた取り組み状況は。

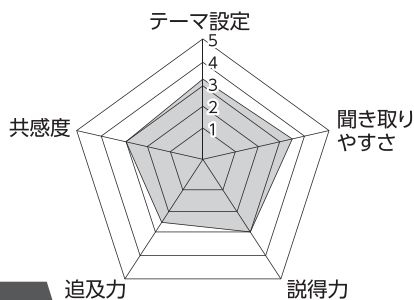
教育長 学校や地域の実情に合った学校行事の時間設定、学習支援員の配置など人的支援による教職員の負担軽減、加配教員の要望による教員の拡充などに努めています。

質問 中学校部活動の地域移行に向けたアンケートの結果と今後の課題は。

教育長 種目のニーズとの不一致、送迎などが課題



くわはら よしふみ
桑原 芳文 議員



として挙げられています。部活動地域移行の改革推進期間である令和7年度までにしっかりと対応できるように検討を進めます。

質問 部活動の地域移行と総合型地域スポーツクラブの関連性は。

教育長 最終的には総合型地域スポーツクラブを部活動の地域移行の受け皿にできるように進めていきたいと考えています。



鷹栖保育園に統合する目的は

町長 保育士の確保による保育サービスの安定的な提供



統合後、北野保育園の建物は発達支援などの施設として活用を予定しています

町長 統合により、全職員が精神的にゆとりある保育環境で安心して働き、子供を預かることができる体制になると考えます。

質問 ①発達などに課題のある子供の受け入れ体制
②0歳児の受け入れ月齢の引き下げ
③通園方法の課題
④一時保育、病後児保育の受け入れ体制
⑤時間外延長保育の拡充

質問 ①発達などに課題のある子供の受け入れ体制
②0歳児の受け入れ月齢の引き下げ
③通園方法の課題
④一時保育、病後児保育の受け入れ体制
⑤時間外延長保育の拡充

町長 統合のメリットとして、保育・子育て支援サービスの充実は必須です。

町長 統合のメリットとして、保育・子育て支援サービスの充実が必須です。

町長 統合のメリットとして、保育・子育て支援サービスの充実が必須です。

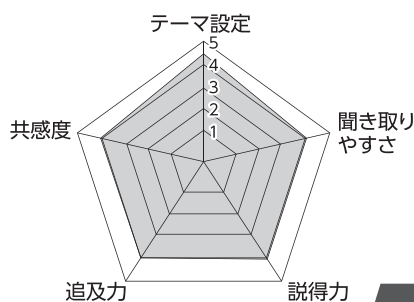
町長 統合のメリットとして、保育・子育て支援サービスの充実が必須です。

町長 統合のメリットとして、保育・子育て支援サービスの充実が必須です。

町長 統合のメリットとして、保育・子育て支援サービスの充実が必須です。



あおの さとし 議員 青野 敏



町長 ④体制を整え、希望に沿った受け入れができるよう努めます。

町長 ⑤統合後の鷹栖保育園では午前7時から午後7時までの延長保育ができるよう対応します。

質問 統合にあたりデメリットがないよう、さまざまな準備が必要です。保護者としては、環境が変わることで園児のストレスや送迎など、多くの課題があります。担当職員も今後の雇用不安があります。総合的な判断として、統合の時期は。

町長 保護者の対応や保育体制の調整のため、令和6年4月に保育園に管理職相当職員の常駐を考えています。

統合後に園児がスムーズに活動できるように、2〜4歳児を中心に園児交流を定期的に行う計画です。また、統合後を想定した取り組みも行う予定です。職員や保護者に対しては臨機応変に経過報告を行います。

町長 保護者説明会や議員協議会でも説明しているとお聞き、令和7年4月1日に鷹栖保育園1園体制での運営を開始する予定です。

鷹 栖・北野両保育園を統合し、令和7年度より新たな体制を目指す考えが示されました。

町長 本町が目指す将来に向けた保育園の在り方は。

町長 子供一人ひとりを大切に、保護者・地域から信頼され、子供たちが健やかに成長し、保護者が子育てを幸せに感じることができると考えます。

質問 北野保育園を廃止し、統合する目的は。

町長 保育ニーズの変化により保育士不足が常態化しています。

町長 統合することで保育士の数を確保し、必要とされる保育サービスを安定的に提供できると考えます。

質問 職員体制を含めた保育環境の考えは。

地区をまたいだ防災訓練を

町長 全町的な訓練も必要 地域運営組織と協力し進める

避難所は町民カレンダーに記載されています、ご確認を

173号
14頁

184号
13頁

資格取得については2018年12月に、情報伝達については2021年9月にも質問しています。



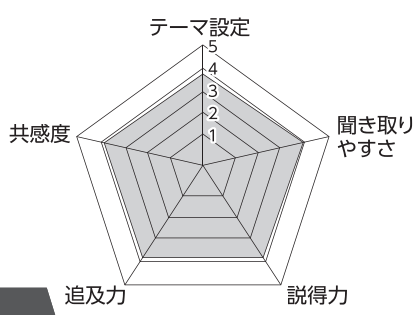
約70人が参加した鷹栖地区の避難訓練では、避難所でのスペース確保、ダンボールベッドの組み立てなどが行われました

災 害時、避難経路の関係から、一部の住民は住んでいる地区ではない地区の住民センターが避難所となります。
普段あまり接触のない他地区との合流による混乱などを軽減するため、日常の人間関係から涵養することが望ましいと考えます。少なくとも避難訓練の際には考慮すべきではないでしょうか。
地区をまたいだ全町的な訓練も必要では。

町長 まずは町民への周知と理解推進のための努力を行います。さまざまな場面を想定した全町的な訓練も必要と考えます。
今後地域運営組織などと協力しながら進めていきます。
質問 全町的な訓練の時期や方法など、具体的な構想は。
町長 それらについては今後、検討していきます。
質問 防災に限らずイベントのときなど、その地区が避難場所になる方にも声をかけることを地域運営組織に町として呼びかけることも必要では。
町長 それらも含めて行いたいと思います。
質問 防災ラジオ、LINE、SNSなどでの災害時の情報伝達が有効か検証する必要があるのでは。
全町的な訓練の際には情報収集訓練、情報伝達訓練を行っては。
町長 災害時、情報が正

確に伝わることで減災につながるかと考えます。それらの訓練についても検討していきます。
質問 防災を日常の延長と捉えることが重要と言われています。
防災士などの有資格者が各地区にいて、日常的にアドバイスできる状態が望ましいと考えます。
資格取得に向けた支援体制についての考えは。
町長 有資格者が町内にいることは非常に心強いと考えています。
2018年12月に前向きな答弁をしましたが、その後コロナ禍で、まだ資格取得には至っていません。引き続き支援を行いたいと考えています。
さらに現在、町では退職自衛官を活用した地域防災

マネージャー制度の人材登用を検討しています。即戦力として期待でき、防災力の強化を図ることができると考えています。採用は1名で、防災についての中心的な役割を担うこととなります。
質問 各地区のイベントに防災の要素を追加できるよう周知の工夫を。
町長 地域運営組織などと協働で進めていきます。



かたやま ひょうえ
片山 兵衛 議員

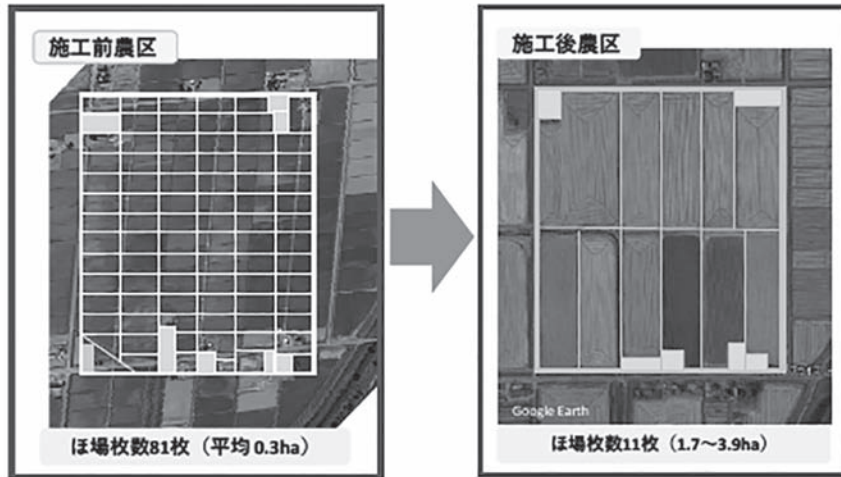
「防災訓練を兼ねた町内の集まりは、なかなかよいと思います。」
「もう少し肩の力抜いてもいい。」

農地の大規模整備事業の考えは

町長

将来の地域農業には必要な事業

■大規模化による施行後の農区（イメージ図）



昨今の農業課題への解決に向けては国営や道営事業による大規模化と連動した農作業の効率化がより求められています

えています。

今年度で事業完了を迎える北野地区国営事業、北成地区道営事業について町としての事業効果の総括は。

町長 耕作放棄地の解消や農家負担額の費用面、農作業時間の効率化、地域の担い手確保など非常に効果の高い事業であると感じています。

スマート農業による新技術の導入、6次産業化の取り組み、地域のにぎわいなど未来への可能性が広がっていると実感しています。町が抱える課題解決には有効な手段です。

質問 スマート農業の推進が非常に重要だと考えています。町の考えは。

町長 町では自動操舵システム等の導入、地域農業推進会議ではドローンによる生育状況を確認できる空撮情報を提供していると聞いています。

国や道の補助など財源確保を念頭に置きながらこれからも前向きに検討していきます。

新たな大規模整備事業の採択は

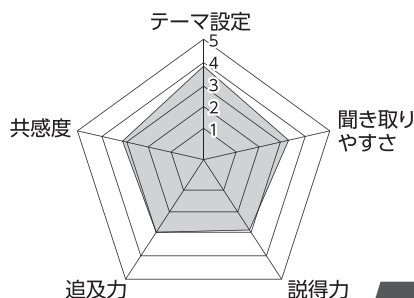
質問 未整備地区の新規採択に向けた考えは。

町長 新規採択の検討を進める中央地区や北斗地区エリアに隣接する旭川市東鷹栖地区でも同様に地域要望があります。

まだ地域合意がされている状況ではありません。関係する農業者や大雪土地改良区、JAたいせつと連絡を密にとりながら、旭川市とも必要に応じた協議を進めます。



さたけ あきら 議員 佐竹 晃



質問 地域合意が得られるよう、専属の職員を配置する考えは。

町長 事業採択に向けて、地域を回って確認をしているところです。

将来的に事業をすることになれば、職員の配置も必要と考えています。令和6年度は、産業振興課が責任を持って取り組みます。

昨今の農業をめぐる情勢は、高齢化や担い手不足に加え、資材・光熱水費の高騰、水田活用交付金事業の畑地化や、農業経営基盤強化促進法の改正による地域計画（現在の人・農地プラン）の策定の義務化、環境保全型農業の推進など大きな変革期を迎

不登校児童生徒へ公的な支援は

教育長 拡充を含め、調査研究を進める

■教育支援センター（元の適応指導教室）

校外にある不登校児童生徒の公的な支援機関

■校内教育支援センター クラスに入れない時やリラックス

したい時に利用できる相談や学習サポートの居場所



令和5年3月全国の不登校児童生徒の数が約30万人と過去最多となったことを受け、文科省は『誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策』（COCOLOプラン）を示しています

■町内の状況

平成30年から5年間の鷹栖町の不登校児童生徒の平均人数は15・2名。
令和4年度は小学生6名・中学生12名の計18名。
令和4年度、不登校児童生徒の割合は全校児童生徒の3・59%（全国平均3・2%）となっています。

不登校児童生徒の支援に対する基本的な考え方は。

教育長

学校に登校するというような結果だけを目標とするのではなく、集団

の中で、将来にわたって社会的に自立した生活を送ることができるよう、必要な支援を行っていくことが非常に重要です。
単純に不登校だから問題だと考えていません。

■質問 不登校になった際、どこに相談していいのかわからないという事例も

あります。課題の認識は、

教育長 相談体制の周知は今後の課題と認識しています。

■質問 函館市では不登校児童生徒に対する基本的な考え方や相談・支援先を示したものを市が保護者向けに配布しています。

本町でも配布しては。

教育長 非常に良いアイデアだと思います。検討します。

■質問 現在、鷹栖町内から旭川市に設置された教育支援センター「ゆつくらす」に通っている児童生徒はい

ません。

鷹栖町の公的な支援機関

は「ゆつくらす」だけで十分と考えていますか。

■教育長 一人ひとりの状況に応じた支援ができることが大事です。学校や教育相談員、スクールソーシャルワーカーが連携して、様々な不安や悩みを抱える児童生徒、保護者の気持ちに寄り添った伴走型の支援を続けていきます。

公的な支援機関についても拡充を含め、調査研究を進めます。

1カ所というのは、選択肢としては非常に少ないと思います。民間のフリースクールについても調査研究

します。

■質問 校内教育支援センターについて国は緊急強化が必要であると考

え、29億円の補正予算を組み、設置に必要な経費を支援すると

考えを示しています。

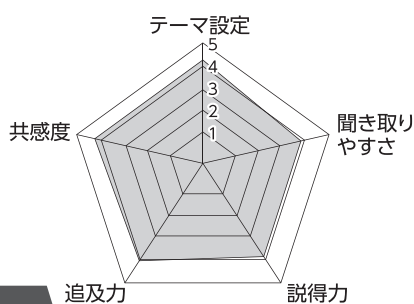
本町は不登校児童生徒の割合が全国より高くなっています。設置する考えは。

教育長 現在も別室での授業など、一人ひとりの状況に合わせた支援をしています。

校内教育支援センターの設置を来年すぐにとは考えていませんが、総合的に考え、速やかに調査研究を進めます。



かわはら まこと 川原 允 議員



「非常にデリケートで、現在進行形の大問題なので臨機応変にすすめてください。」「共感できる内容でした。」



まち Labo の企画のひとつ劇団 isono の公演は今回も大盛況でした

議員が行う一般質問が、町政にどう反映されているのか追跡します。
 これまで別紙で配布していましたが、今期から議会報「孔雀草」に連載します。

どうなった？ あの質問



一般質問のその後を追跡！

今回、追跡するのは
令和4年12月 桑原議員の質問

189号
 9頁

移住を促進。住み続けられるまちの実現を

質問 移住者と在住者が住み続けられる町を実現するための取り組みは。

町長 町の魅力や町民同士の結びつきを強める機会を継続しています。

いま **魅力あるまちづくりを推進**

令和5年度より各地区に地域交流の基盤となる地域運営組織を設立しました。

また、まち Labo の継続による町民同士の新しい人のつながりの創出や、札幌圏の学生や慶應義塾大学生との交流により関係人口の創出を促進しています。地域おこし協力隊インターンから1名が移住につながりました。

住宅建築の支援は

質問 空き家改修支援事業や住宅支援事業補助金の効果は。

町長 社会増減がプラスに転じることもあり効果が大きいと考え、令和5年度以降も拡充・継続します。

いま **地域加算やゼロカーボン加算新設**

空き家改修に100万円。鷹栖小学校通学区の地域加算を新設。

令和5年度(12月末時点)申請7件 転入者7名
 改築や新たな建築住宅へ上限200万円の補助やゼロカーボン加算の新設。
 令和5年度(12月末時点)申請22件 転入者44名

移住関連状況

令和5年12月末時点

移住問い合わせ

令和3年度 17件

令和4年度 30件

令和5年度 15件

移住体験ツアー

令和3年 6件 12名

令和4年 5件 6名

令和5年 4件 7名

北海道移住フェア

令和3年度
 出展2回 相談22組

令和4年度
 出展3回 相談37組

令和5年度
 出展4回 相談47組

2025年 夏までに工事完了の予定！

第5回
 臨時会

1/1 学校施設空調設備整備事業

近年、北海道でも記録的な猛暑が続いています。児童生徒、教職員の熱中症対策のため、小中学校の各教室、職員室、校長室、音楽室等にエアコンが整備されます。

スケジュール

令和5年11月 実施設計委託

令和6年5月

各小中学校順次設置

令和7年 工事完了予定

※期間は13カ月程度を予定

整備にかかる工事費

実施設計委託料950万円

工事費 2億3600万円

内文科省補助7080万円

工事については順次設置されますが、今年も現状の体制での対策も必要です。

また、学校以外の公共施設に関しても空調設備の整備について協議が続いています。

今まで外遊びして帰ってきたら汗だくで、授業中も汗がひかず暑かったです。エアコンがついて教室が冷えていたら勉強にも集中できると思います。

北村 結菜さん (小5・北野地区)





11/20

他の議会からも関心 一般質問の勉強会を継続



議会のうごき

2023年 10月20日 ▶ 2024年 1月19日

会議の開催状況

臨時会	2回
議員協議会	2回
議会運営委員会	1回
各常任委員会	10回



SNSで活動報告を行っています

【欠席状況】

阿戸	議員協議会 (11/21)
青野	臨時会 (11/1)
	総務文教 (11/1)

総務文教常任委員会→総務文教のように略しています

参加者の声

勉強会では一般質問通告の前に各議員が質問内容を説明し、意見交換します。



はじめて参加しました。今回は質問は予定していませんでしたが、質問者が質問内容を細かく準備されていて、大変、勉強になりました。(安達)



2回目の参加でした。アドバイスを受け、学力の向上に向けた教育長の今後の方針について、質問の内容を深めることができました。(桑原)



10/25

このような取り組みはまだ少なく、他の議会からも関心を持たれています。視察の際、質問内容に制限が生じることを心配する声も聞かれますが、当議会では質問者の意見は最大限尊重され、質問する際の視点が増えたり、質の向上につながると考えます。

議員研修レポート

議長研修 四国の先進地に学ぶ

上川町村議会議長研修会

鷹栖町が今、抱えている課題にどのように取り組み克服していくのか。学んだことを今後の議会活動に活かしていきます。(大石 隆議長)

愛媛県砥部町

江戸時代からの伝統工芸品である砥部焼(陶磁器)の文化に徹底的にこだわり、後継者育成や映画製作など地域活性化に努めていました。

高知県大川村

「何が何でも400人の人口を守る」ため「土佐はちきん地鶏」や「大川黒牛」による産業振興などを実施。

議員のなり手不足により村民総会を検討したこと有名に。議員の兼業について幅広く認めていました。

徳島県那賀町

早稲田大学マラエスト研究所議会改革度調査で全国町村9位。情報共有、住民参画、機能強化の方法について学びました。

徳島県上勝町

「葉っぱを売る」ユニークな発想で、おばあちゃんがパソコンを駆使し、年収1000万円超えの農家が続出。年商2億6000万円となった彩(いろどり)事業成功の秘訣と、焼却ごみと埋め立てごみを無くすゼロ・ウェイストの取り組みを学びました。



町民自らごみを持ち込むため、ごみ収集車は走っていません(上勝町)

11/29

12/2

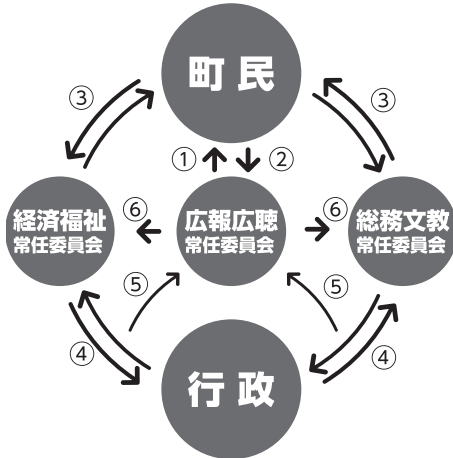
広報
広聴

「町民の声シート」を町民と作成
課題を各所管委員会に提出

今期は広聴活動と広報活動の循環を指して活動しています。

定例会後の「議会報を読んで語ろう会」(図中の②)で出た意見を新たなツール「町民の声シート」にまとめ、担当の委員会に提出しました(図中の⑥)。

広報広聴の目指す姿



①議会報、チラシなどを通じた広報活動

②議会報を読んで語ろう会、アンケートなどを通じた広聴活動

③それぞれ所管のテーマについて広報広聴活動を行う

④所管委員会が行政とのやりとりを行う

⑤④について広報委員会を通じて町民の方に周知

⑥町民の方からの意見などは各委員会に共有



11/27 総務文教・経済福祉常任委員会委員長へシートを提出しました



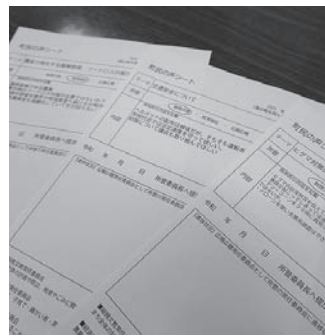
11/15 語ろう会は19名の方に参加していただきました

総務文教常任委員会の担当

- ペーパーレスによる情報格差
- ごみ減量化や分別方法の課題
- 運転者のモラル向上

経済福祉常任委員会の担当

- 農作物のフードロス解消
- ヒグマ出没への予防対策
- パレットヒルズの利用状況や課題



会場で出た意見をもとに「町民の声シート」を作成



「聞いて終わりにしない」そんな議会を目指しています

- 【最近の視察受け入れ状況】
- 11月6日 上富良野町議会
 - 11月7日 青森県板柳町議会
 - 11月21日 三重県木曾岬町議会
 - 天塩町議会

一緒にまちづくりませんか？



参加された方は、議会から行政に要望を届け、より良い町にしていくことを強く望んでいました。各委員会の取り組み内容も広報で伝え良い循環を作ります。

議会報を読んで語ろう会

北野地区住民センター 2階中会議室

次回開催 2月14日(水)

CAFE OPEN 14:00- 語ろう会 14:30-16:00

総務 文教

課題について現場の確 認と聞き取りを実施

調査中の課題について、適宜協議しながら、現場確認と聞き取りを進めています。今後、課題の整理をしていきます。町民の声シートは共有し、各自で調査中です。

ごみ仕分け作業体験

10/27

ごみ処理場の実態を知るため、新しくなった委員全員で処理場を確認。ごみの仕分け作業も行いました。



ごみ処理場
験のレポート
動画



協力隊員と懇談

11/27

地域おこし協力隊員の方から活動の課題をお話してもらいました。



SOUNDカードの 体験会開催

1/15

会議活性化ツール「SOUNDカード」の体験会を行い、ごみ問題について町民の方のご意見を聞きました。詳細は次号で紹介いたします。

経済 福祉

新規農作物や介護体制についても 協議。町民の声シートを基に活動が はじまる

10/17 畑地化の鷹栖町新規作物としてホップ栽培を調査する提案がありました。現在関係各所と連携し、視察を検討しています。

11/27 福祉の現場では相談内容が複雑・多様化している点に着目し、「高齢化によるお困り相談への対応」という内容が活動テーマに追加されました。

12/1 提出された3枚の町民の声シートは産業振興課所管の案件でした。担当課長と協議を行いました。



町民の声シートを届け、協議をしている様子。今後回答を受け、調査・研究を進めます。

12/9 持続可能な介護体制について調査する方針を決め、5年度内に関係機関のヒアリングを行うことが決まりました。

12/22 今期の活動テーマ
調査依頼

活動テーマI
超高齢化社会への対策
○お困り相談への対応
○住み慣れた地域で暮らすための交通手段

活動テーマII
安定した除雪体制
○直営や委託の区分見直し等の除雪体制や除雪方法
以上の活動テーマについては現状を把握するため、担当課に質問を提出しました。

マニフェスト大賞

優秀議会改革賞受賞



「無投票の回避」「傍聴者の増加」を目標に取り組み、それが結果につながった前期4年間の活動が評価されました。受賞式会場にて。

5名で事例発表 全員での取り組み強調

11/9
▼
11/10

2023年11月に第18回マニフェスト大賞が発表され、鷹栖町議会は優秀議会改革賞を受賞しました。

東京で開催された11月9日の受賞事例研修会（会場・メディアアドウ）、10日の授賞式（会場・アカデミーヒルズ）には大石議長、片山議員、斉藤議員、坂根議員、青野議員が参加しました。

事例研修会では3分間の事例発表を参加した5名全員で行い、取り組みを全議員で協力し合いながら進めていることを強調。参加者の投票によるプレゼンテーション賞3位をいただきました。

その後の意見交換会では多くの方とお話ができ、事

例発表だけでは分からない実情などもうかがうことができました。

受賞式では残念ながら最優秀賞には至りませんでしたが、得るものが多い2日間でした。

「開かれた議会」を目指し、さらに努力をしていきます。



受賞事例研修会では、応募総数3088件の中から選ばれた40件の事例発表が行われました。鷹栖町議会は午後一番の発表で原稿を5名全員が分担。マイクトラブルもありましたが、プレゼンテーション賞3位となりました。

マニフェストアワード
ドコレクシオン参加

2024年1月31日、2月1日に早稲田大学で開催されるマニフェスト大賞の成果を振り返るイベント「マニフェスト・アワード・コレクシオン」に、片山議員、川原議員、青野議員が参加予定です。

「議会広報が変えた住民とのコミュニケーション」の取り組みの1つとして事例発表と質疑などを行う予定です（1月時点）。

表紙 晴れ着姿の子どもたちが夢や希望に胸を弾ませて、とびつきりの笑顔で鷹栖に集まります。そんな子どもたちを「おじさんおばさんと一緒に祝いたい！」との思いで有志が集まり「二十歳を祝い隊おじさんおばさんの会」が立ち上がりました。気が付くと今年で17回目・・・次からは「二十歳を祝い隊おじいちゃんおばあちゃんの会」になります。 (代表 坂根玲子)

VOICE

議会傍聴者をはじめとする皆さまの声をご紹介します。

役場ロビー1階の中継場所で傍聴したが、アンケートや傍聴者資料がなかった。

ご不便をおかけしました。通常、設置していましたが、12月9日は設置することを失念していました。配布物のチェックを行うよう議会で再確認しました。

一般質問通信簿の取り組み良かったです。

通信簿の公表については反対のご意見をいただくこともあります。皆さんの声や通信簿の評価を真摯に受け止め、今後も傍聴しやすい議会や質問の質の向上を目指していきます。

何度か傍聴しています。今回は農業、子ども、福祉など色々な分野から意見が出てよかったと思います。

今後も多様な課題提起ができるよう努力します。今回は5月に初当選した新人議員の一般質問もありました。

今回もさまざまなご意見をお寄せいただき、ありがとうございます！
今後も多くのご意見をお待ちしています。



今回の表紙

祝二十歳♡いつでも鷹栖はあなたの故郷

15名の町民が集まり、実行委員と共に、色とりどりの風船を膨らまして会場を装飾。今年も立派なアーチができました。



3月定例会は 3月5日(火)～8日(金)

令和6年度予算審議!

ぜひ傍聴にお越しください。

- 3月の定例会でも引き続き一般質問で通信簿をつけていただく取り組みを行う予定です。
- 多くの方の傍聴をお待ちしています。
- 日程は変更になる場合があります。
- 役場ロビーとはびねすで中継を予定しています。
- 詳細は議会事務局にお問い合わせください。

《クイズ応募方法》2ページのクイズの答え・住所・氏名・年齢を記載し、郵送、FAX、Eメール、または回答フォームからご応募ください。①よかった記事 ②こうしたらもっとよくなるというアドバイスもいただければ幸いです。

《あて先》「議会事務局 宛」住所などは裏表紙に記載
《しめきり》令和6年2月29日(木)消印有効

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送とそれにかかる業務のみに利用します。

前回のクイズの答え

すべての夢を実現させたい

(はたちのつどい代表者あいさつより抜粋)

私は、小さい頃はお花屋さんやケーキ屋さん、歌手、大きくなってからは学芸員、公務員、貿易関連のお仕事など、多種多様な夢を抱いてきました。

現在は、これまで夢に見たこともなかったマーケティングと人事の仕事をしています。

私自身を振り返っても、これまで抱いてきた夢は叶えられていません。しかし、芸術作品について語れるようになること、音楽で自分の世界を表現することは諦めていません。芸術系の通信大学に通ったり、シンガーソングライターとしてライブハウスでの演奏やオリジナル曲の配信を行うなど、さまざまな活動をしています。

小さな頃からの夢と、大人になってから見つけた夢を、全て実現させたいと思っています。

若さは永遠ではありません。

夢を迫るうちに貪欲に夢を追い、それぞれのやりたいことが叶えられるよう走り続け、人生をまっとうできればと思います。



シンガーソングライター
としても活躍中

たいら あまね
平 天音さん(北野地区) はたちのつどい
実行委員長



今回20歳を迎えたみなさんは18歳のときに法律が変わり成人となった世代です

わたしの一言



鷹栖町に縁のある方に日頃の思いなどを自由に書いてもらうコーナーです。



お世話になった方々に恩返し出来るよう挑戦中!

せお たいき
瀬尾 太樹さん
(8区・メロディー町内会)



新築の自宅前、除雪は完璧

感謝と挑戦

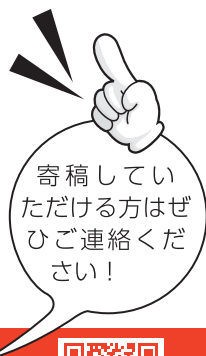
あったかファームを卒業して、3年が経ちました。昨年は、初めてのお米作りに挑戦しました。たくさんの方々に指導してもらい、助けてもらいながら、何とか無事に収穫することができました。

作業過程では、失敗することも多く、思い通りにならず不安な気持ちでいっぱい、お米作りの大変さを思い知らされました。色んな思いをした初めてのお米は、とてもおいしく感じ、家族も喜んでくれました。

また、農地近郊に引っ越した際、子供達が遊びに行く事が少なくなってしまったのが不憫で仕方なかったこともあり、昨年、北野市街地に新築しました。

師匠をはじめ鷹栖町新規就農支援、数え切れないほどのお世話をいただいた方々、何よりも家族の支えもあり、今日まで胡瓜の栽培から稲作まで出来るようになりました。とても感謝しております。

今後は恩返し出来るように、色々な事に取り組んでいきたいと思っています。



寄稿していただける方はぜひご連絡ください!

